

高校改革に関するアンケート調査結果について

平成22年3月

山梨県教育庁新しい学校づくり推進室

山梨県では、生徒の多様化、生徒数の減少、全県一学区による新入試制度の導入など、本県の高校教育を取り巻く環境が大きく変化している中で、魅力と活力ある高校づくりを推進するための指針となる「県立高等学校整備基本構想」を平成21年10月に策定し、今後具体的な施策を実施していくこととしていますが、高校改革などについて幅広くご意見をいただき、今後の高校づくりの参考にさせていただくため、県政モニターの皆様によるアンケート調査を実施しました。

なお、同時に、県内中学生、高校生、保護者及び教員を対象に調査を実施しており、全体の集計について県のホームページで公表しています。

1 アンケート調査の実施時期

平成21年12月

2 県政モニター数及び回答数

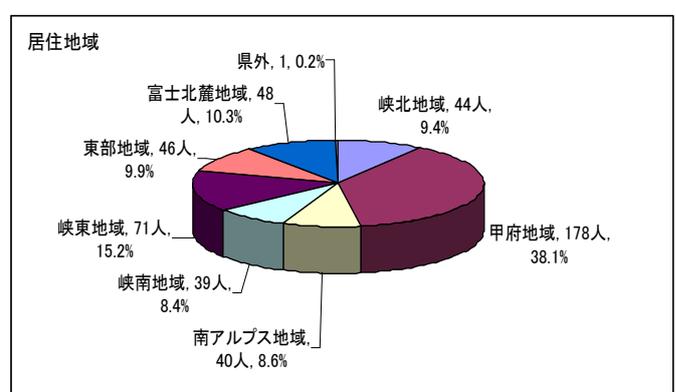
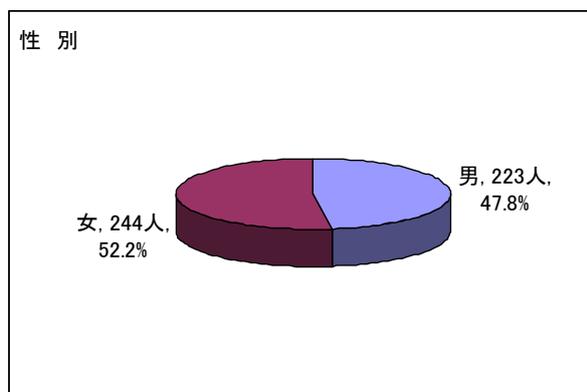
モニター区分	モニター数	回答数	回答率
①一般モニター（郵送配布・郵送回収）	501人	399人	79.6%
②インターネットモニター（電子メール）	82人	68人	82.9%
合計	583人	467人	80.1%

3 表示方法

それぞれの回答について、円グラフ及び棒グラフで表示した。

なお、割合表示について、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

4 回答者の属性

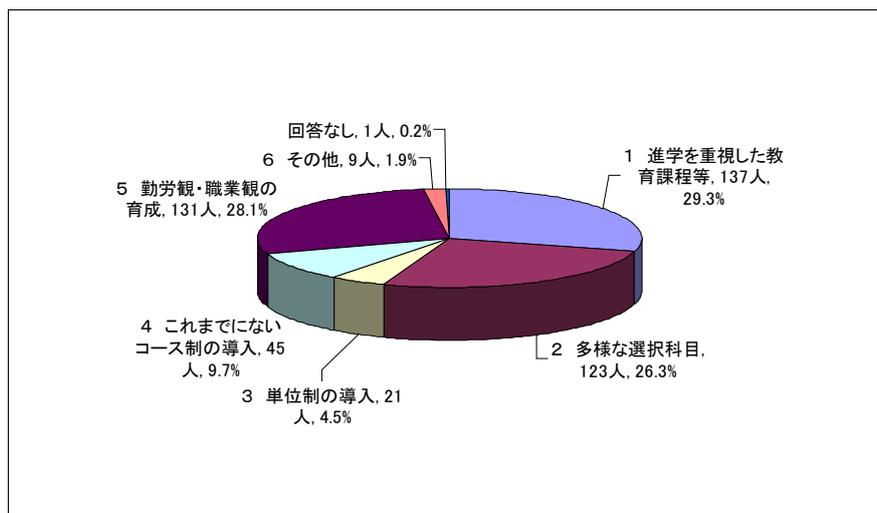


5 アンケート集計結果

【問1】

高校の普通科の魅力づくりのために何が必要だと思いますか？（1つ選んで下さい）

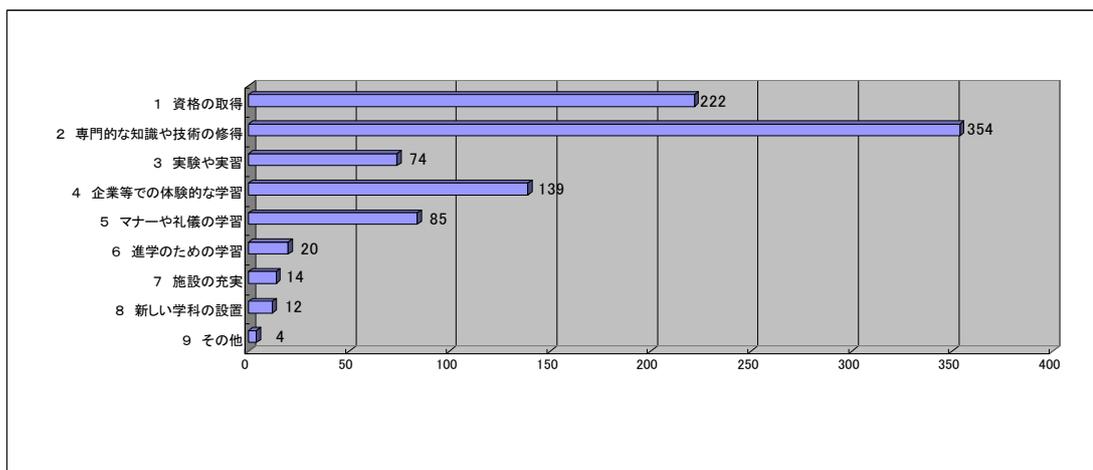
- 1 大学、短大などへの進学を重視した教育課程や進路指導
- 2 普通科のほか多様な選択科目の設置
- 3 単位制の導入
- 4 芸術系、スポーツ系などこれまでにないコース制の導入
- 5 社会人・職業人として必要な勤労観・職業観の育成
- 6 その他



【問2】

高校の専門学科（農業科・工業科・商業科）に何を期待しますか？（2つ選んで下さい）

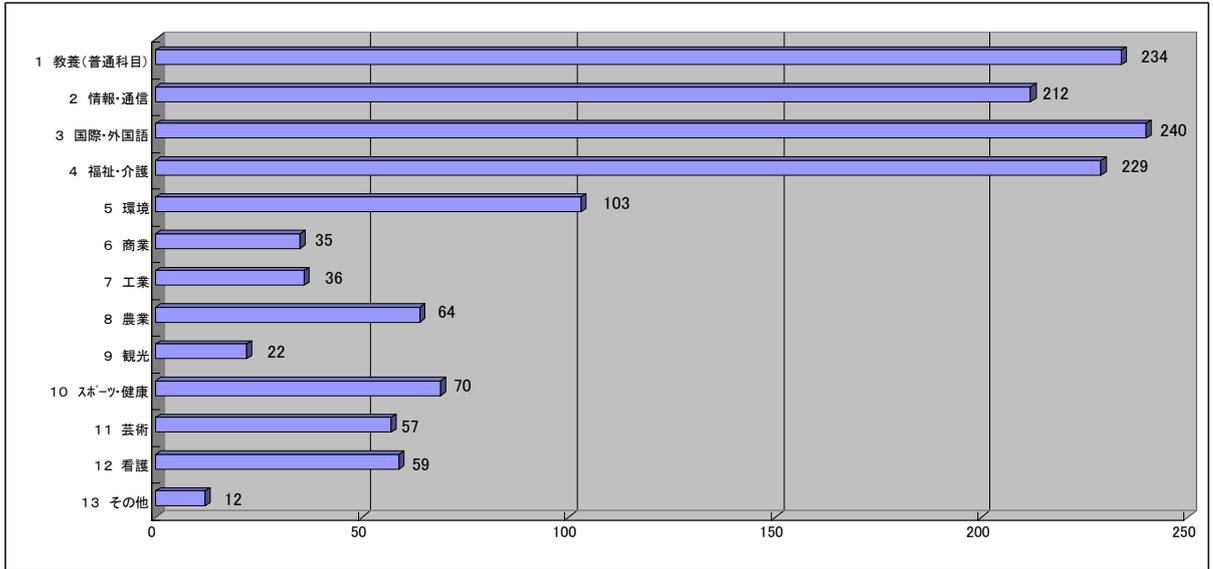
- 1 資格の取得
- 2 専門的な知識や技術の修得
- 3 実験や実習
- 4 企業等での体験的な学習
- 5 マナーや礼儀の学習
- 6 進学のための学習
- 7 施設の充実
- 8 新しい学科の設置
- 9 その他



【問3】

総合学科では、いろいろな科目を用意して、生徒がその中から将来の進路などに合わせて科目を選択し、各自の時間割を作成して学習します。その時、どのような分野の科目があればよいと思いますか？（3つ選んで下さい）

- 1 教養（普通科目） 2 情報・通信 3 国際・外国語 4 福祉・介護
 5 環境 6 商業 7 工業 8 農業 9 観光
 10 スポーツ・健康 11 芸術 12 看護 13 その他

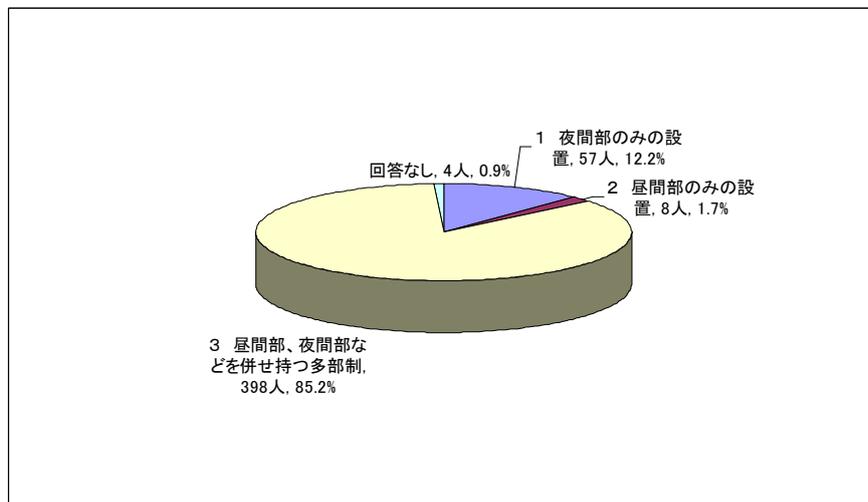


【問4】

中学校卒業生のうち就職する生徒が減少し、現在の定時制は、働きながら学ぶ人のための学校という役割だけではなく、さまざまな学習歴を持つ生徒の学習の場としての役割も持つようになってきています。

今後、定時制をどのようなタイプにしていくべきだと思いますか？（1つ選んで下さい）

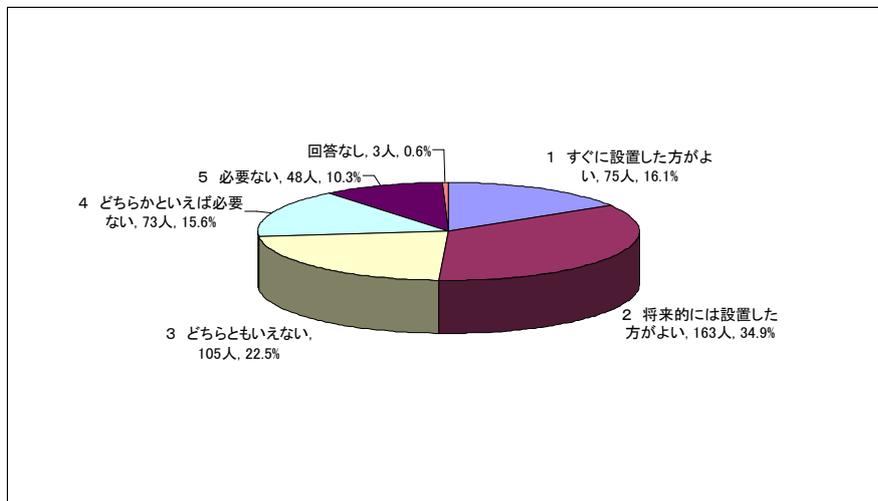
- 1 夜間部だけの設置 2 昼間部だけの設置
 3 昼間部、夜間部などを併せ持つ多部制



【問5】

中学から高校まで6年間の一貫した教育課程や学習環境のもとで学ぶ中高一貫教育校について、本県では県立校に設置されていませんが、どう思いますか？（1つ選んで下さい）

- 1 すぐに設置した方がよい
- 2 将来的には設置した方がよい
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかといえば必要ない
- 5 必要ない

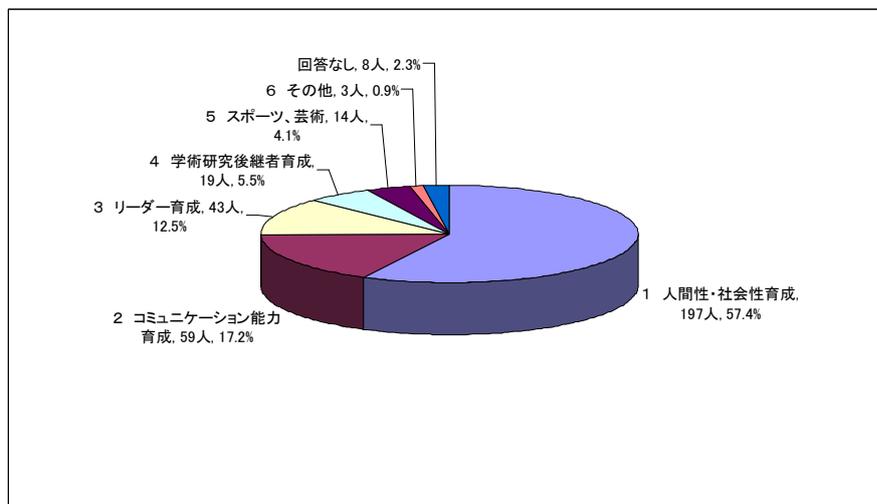


【問6】

問5で1～3と回答した方にお聞きします。

何を重視する中高一貫教育校を設置すべきだと思いますか？（1つ選んで下さい）

- 1 一貫した学びの中での豊かな人間性や社会性の育成
- 2 国際化に対応し、世界に通用するコミュニケーション能力の育成
- 3 社会に貢献できるリーダーの育成
- 4 科学技術における学術研究の後継者の育成
- 5 スポーツ、芸術のスペシャリストの育成
- 6 その他



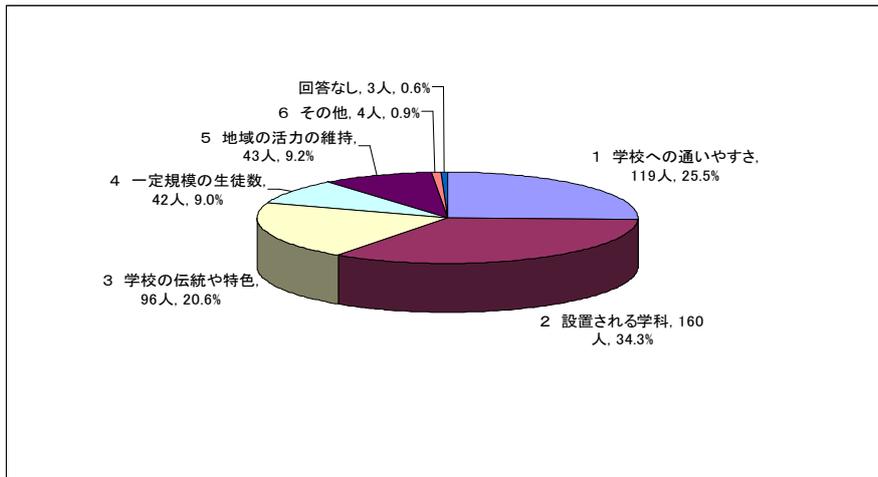
【問 7】

平成20年3月の中学校卒業生数は約9,000人でしたが、平成32年3月には約7,300人に減少する見込みです。

生徒数が少なくなり学校が小規模化すると、学習活動や課外活動も縮小し、学校全体の活力が失われてきます。

学校の活力を維持するため、今後は高校の再編整備が必要となってきますが、高校を統合する場合には、何を優先的に配慮すべきだと思いますか？（1つ選んで下さい）

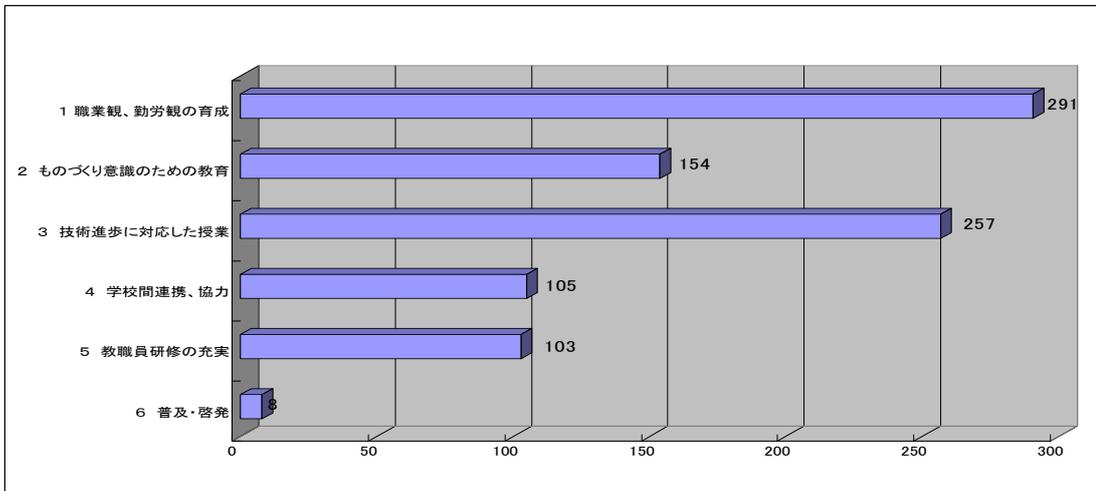
- | | |
|-------------|------------|
| 1 学校への通いやすさ | 2 設置される学科 |
| 3 学校の伝統や特色 | 4 一定規模の生徒数 |
| 5 地域の活力の維持 | 6 その他 |



【問 8】

これからのキャリア教育に求められる観点はどのようなことだと思いますか？（2つ選んで下さい）

- 1 全ての県立高校で就業体験を積極的に実施し、職業観や勤労観を育成する
- 2 義務教育段階から、ものづくりの意識を深めさせるための教育を提供する
- 3 民間企業や地域等から講師を招き入れ、技術の進歩に対応した授業を実施する
- 4 教職員間、生徒間の交流など小・中・高・大の学校間の連携、協力を進める
- 5 教職員を対象としたキャリア教育研修を充実させる
- 6 パンフレットの作成などキャリア教育の普及・啓発を進める



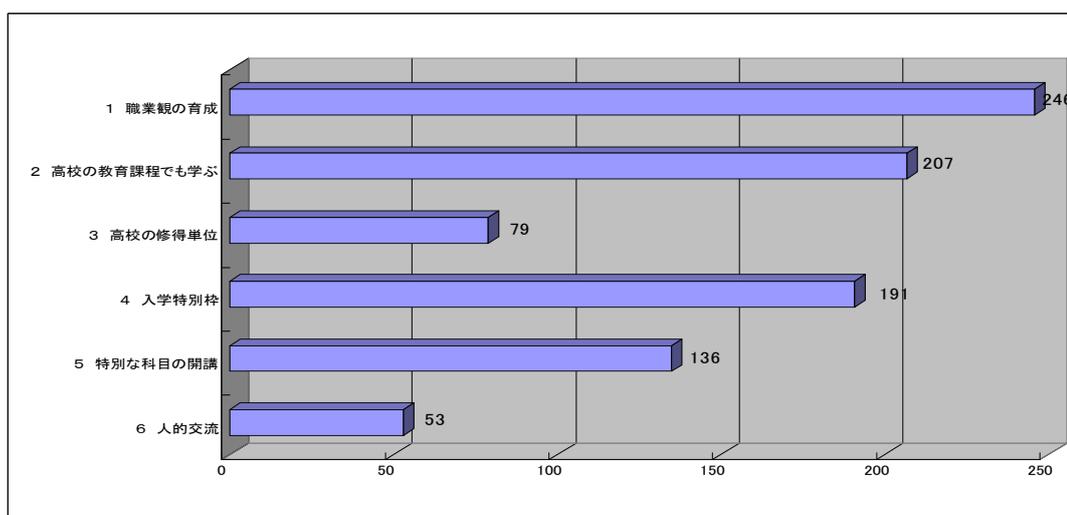
【問 9】

県内には各種の上級教育機関がありますが、生徒の多様な個性を伸ばしたり、地域産業を支える人材を育成したりするためには、これらの機関との連携が望まれます。

県立高校がこれらの機関とどのように連携していくことが必要だと考えますか。

(2つ選んで下さい)

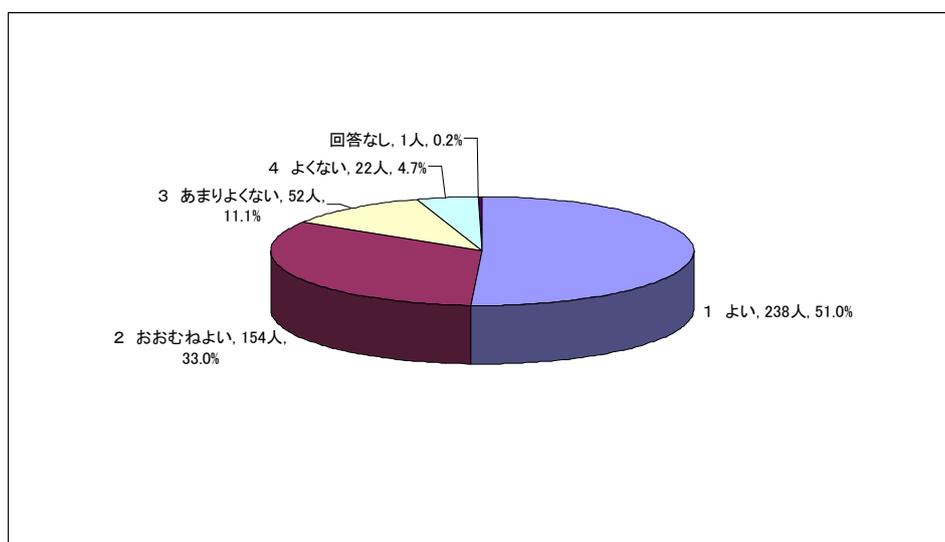
- 1 各上級教育機関における体験的な学習を通じて職業観を育成する
- 2 各上級教育機関で学ぶ基礎的な学習を高校の教育課程の中でも学べるようにする
- 3 各上級教育機関での学習を高校の修得単位として認める
- 4 上級教育機関に地元への就職を希望する生徒を対象とした入学特別枠を設ける
- 5 各上級教育機関の指導者が担当する特別な科目を開講する
- 6 生徒と学生の人的交流を進める



【問 10】

平成19年度入試から普通科の通学区域(学区)がなくなり、自分に合った県立高校を県内どこからでも志願できるようになりました。この制度についてどう思いますか？ (1つ選んで下さい)

- 1 よい
- 2 おおむねよい
- 3 あまりよくない
- 4 よくない



【問 1 1】

平成 1 9 年度入試から全日制課程で前期募集を実施していますが、この制度について
どう思いますか？（1つ選んで下さい）

- 1 よい 2 おおむねよい 3 あまりよくない 4 よくない

